

『川づくり案を作成した自分たちが、自ら川づくりに関わる』

十勝川中流部市民協働会議だより 8号

十勝川中流部市民協働会議は平成26年6月に以下の活動を実施しました。

- 6月 7日：『NPO法人十勝多自然ネット』と当会議と協働で、相生中島上流湿地の掘削作業を実施し、湿地に中島を創出しました。また、同箇所において清掃活動を実施し、その十勝大橋上流へ移動し、外来草本※1の除草作業を実施しました。
- 6月14日：当会議で十勝大橋上流において外来草本除草作業と保全する樹木へのマーキング作業を実施しました。
- 6月21日：『帯広農業高校』生徒20名と当会議による、協働での現地測量と外来草本の除草作業を実施しました。

※1：外来草本とはここでは「オオアワダチソウ」を指します。環境省が同種を「要注意外来生物リスト」に指定しています。また、日本生態系学会は、同種を「日本の侵略的外来種ワースト100」に指定しています。文献によると、「既に広く野生化しているが、希少種等との競合・駆逐等のおそれがある地域については、積極的な防除または分布拡大の抑制策の検討が望まれる。」とされています。

6月7日 十勝川相生中島上流湿地における「NPO法人十勝多自然ネット」と当会議の協働掘削作業と清掃活動



6月7日 十勝大橋上流の除草作業



6月14日 十勝大橋上流左岸における外来草本除草作業と保全樹木へのマーキング



6月21日 十勝大橋上流左岸における「帯広農業高校」と「当会議」の協働による測量作業と外来草本の除草作業



6月21日 十勝大橋上流左岸における「帯広農業高校」と「当会議」の協働による測量作業と外来草本の除草作業

